

旭市立鶴巻小学校学校再編地域検討会議 検討結果

旭市学校再編基本方針の（仮称）海上地域小学校について、旭市立鶴巻小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することに「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」

旧海上中学校跡地は「概ね賛成」

【検討の経緯と理由】

鶴巻小学校は、明治22年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和6年度には85名となり、さらに減少していくことが見込まれている。

会議の中では、今後の児童数減少を考えると統合はやむを得ないという意見が多数であり、鶴巻小学校、滝郷小学校、嚶鳴小学校を1校に統合することに「賛成」となった。

統合校の位置：嚶鳴小学校

嚶鳴小学校を統合校として活用するには敷地が手狭であるという意見が多く、周辺の交通渋滞も危惧される。また、校舎の耐用年数を踏まえると、今後掛かる建設費用を先送りしているだけであり、建設費の目安として示された10億円よりも改修工事に金額が掛かる可能性もあるため、それだけ費用を掛けるなら新しい場所、新しい校舎でスタートさせたいという理由などから、統合校の位置を嚶鳴小学校にすることには「反対」となった。

統合校の位置：旧海上中学校跡地

旧海上中学校跡地を統合校の位置とすることは、すでに十分な面積の敷地が確保できているため早く統合できるが、周辺道路の安全対策が必要という意見があった。海上中学校北側農地が不可能なら仕方がないという理由などから「概ね賛成」となった。

委員提案

統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、近隣に中学校や公園等があるため駐車場が十分に確保できる、立地的にも地域の中心にあるため3校の児童が平等に通学できるという理由などから、多数の委員が候補地として望んでいた。

その他の意見

- ・統合中学校の検討を先に進め、その結果により小学校の位置を決めていくことも考えるべきではないか。
- ・鶴巻小学校と滝郷小学校を先に統合して、児童数の状況を見ながら3校の統合を検討してはどうか。
- ・公民館なども含めた一体的な施設として整備してはどうか。

【会議の概要】

第1回 (R6.7.5)	(1) 旭市学校再編基本方針の概要について (2) 海上地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (3) 意見交換
第2回 (R6.8.1)	(1) 学校再編の目的について (2) 事例紹介(香取市立山田小学校・東庄町東庄小学校) (3) 統合校の候補地について (4) 意見交換
第3回 (R6.9.27)	(1) 3校の統合について (2) 意見交換
第4回 (R6.10.29)	(1) 統合校の位置について (2) 意見交換
第5回 (R6.12.17)	(1) 学校再編地域検討会議の検討結果について

令和6年12月17日

旭市教育委員会